

I 東日本大震災による被災状況

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、旭市では、住家被害としては全壊336世帯、大規模半壊434世帯、半壊510世帯、一部損壊2,488世帯、合計3,768世帯と旭市内全世帯の約15%が被害を受けました。また、人的被害では、13人の尊い命が失われ、今なお2人の方が行方不明となっています。(平成25年1月31日現在)

津波による浸水面積は約380ha(※1)、最大津波痕跡高は平松浜の事務所建物(※1)及び足川保安林土手頂上付近で7.6m(※2)と未曾有の被害を受けました。



図 東日本大震災による被災状況

(「被災地あさひ 被災から復旧、そして復興へ 2011.3.11 東日本大震災の記録」より)

※1 千葉県防災危機管理課資料より

※2 東大地震研究所調査結果より



大項目	中項目	小項目	被害額(千円)	被害原因	
土木施設	道路など	市道など	306,288	1路線(津波)、52路線(液状化)、9路線(地震)	
		国道	6,510	1路線(液状化)	
		県道	150,173	2路線(津波)、5路線(液状化)	
	河川/海岸	地区内水路	912,996	2水路(液状化)、1排水路(地震)、矢指川、離岸堤、環境施設(津波)	
農業	津波浸水農地		3,174	水田69ha、畑5ha	
	農業用施設		3,930,725	水路102か所、農地保全2か所、揚水機11か所(原因区分できず)	
	農業生産施設		466,876	ハウス63棟(津波10棟、原因区分できず53棟)、畜産施設4件(原因区分できず)、飯岡農産加工室1件(津波)	
	農産物		688,670	ミニトマト23.5ha、キュウリ40.8ha、花卉類6.84ha、その他4.96ha(原因区分できず)	
水産業	漁船		260,000	転覆12、乗り上げ30、接岸40、不明3(津波)	
	加工施設		2,501,700	11施設(原因区分できず)	
商工業	建物など		6,231,228	全壊114棟(原因区分できず)、半壊123棟(原因区分できず)、床上浸水33棟(津波)、床下浸水15棟(津波)	
消防施設	消防本部・消防署		庁舎	10,457	消防本部(地震)、飯岡分署(津波)、干潟分署(地震)
			車両	94,290	本部タンク車(津波)、本部連絡車(津波)、団車両3台(津波)
			施設	58,428	耐震性貯水槽(液状化)、防火水槽など(地震・津波)、海上1-3庫(液状化)、飯岡1-3庫ほか(津波)
公共施設	文教施設	学校	63,110	小学校8校(地震)、第一中学校(地震)、飯岡中学校(津波)、干潟中学校(液状化)	
		教職員住宅	26	地震	
		給食センター	13,673	3か所(地震・液状化)	
		いとおかユートピアセンター	8,865	津波	
		大原幽学遺跡史跡公園	90,888	地震	
		体育施設	21,921	総合体育館(地震)、飯岡体育館(津波)、飯岡野球場(津波)、飯岡庭球場(津波)、海上野球場(地震)、市営プール(津波)	
		県施設	13,367	東総文化会館(地震)	
	水道施設		120,000	管路被害(液状化)、空気弁(津波)、旭配水場(地震)	
	下水施設	農業集落排水	120,000	江ヶ崎地区(地震)	
	清掃施設		76,347	荻園生活排水処理施設(津波)、塵芥処理施設(地震)	
	保育所施設		96,674	日の出保育所(液状化)	
	庁舎など		51,253	干潟支所(液状化・地震)、飯岡支所公用車1台(津波)、防災行政無線(津波)ほか	
	観光施設		33,176	矢指ヶ浦・飯岡海水浴場(津波)、観光街路灯(津波)	
	公園施設		255,277	袋公園(地震)、川口沼親水公園(地震)、あさひ健康パーク(津波)、矢指ヶ浦公園(津波)、長熊スポーツ公園(地震)	
	病院施設		5,321	旭中央病院(地震)、飯岡診療所(地震)、滝郷診療所(地震)	
	その他	市営萬歳住宅	2,310	液状化ほか	
		海岸トイレ	27,335	中谷里浜ほか2か所、荻園ほか2か所(津波)	
保安林防風柵		24,570	津波		
食彩の宿いとおか荘		232,890	津波ほか		
コミュニティバス停留所		246	津波		
地区集会施設		31,937	井戸野浜ほか12区(津波ほか)、中谷里浜ほか1区(津波)		
小計			16,910,701		

図 東日本大震災による被災状況

(「被災地あさひ 被災から復旧、そして復興へ 2011.3.11 東日本大震災の記録」より)